

●内容観察
 イエスさまはベテスタの池の横たわっていた38年間も病気に悩む人をいやされました。ユダヤ人たちは尻を取り上げた人に対し、安息日を破ったと認め、そのように命じたイエスさまを憎みました。

●特観と適用
 〈避けるべき罪〉6 ~ 7 節: ベテスタの池のかたわらに横たわるこの人に対する「なおりたいのか」というイエスさまの問いに、「水が動く時、わたしを池の中に」入れてくれる人がいません」と半ばあきらめの境地がつかやかれます。彼はなりたいという願いがありながらも、神さまではなく、誰か助けてくれないという人に対する不満と失望が先立っています。

〈教え〉8 ~ 9 節: イエスさまは38年も病に苦しむこの男に対して、「起きて、足をとり上げ歩きなさい」と言われました。するとこの人は、すぐにイエスさまのみに従い足をとり上げて歩いて行きました。

〈示された罪〉10, 16 ~ 19 節: その様子を見ていたユダヤ人たちは、安息日に足をとり上げたこの男といやされたイエスさまを責めました。律

●内容観察
 イエスさまはご自身がお父りから遣わされたことを明らかにされました。そして、子は父のみこころを行うこと、子によって人はいのちを受けること、子に一切の裁きがゆだねられていることを教えられました。

●特観と適用
 【律法】19 節: 安息日にいやしをし、神さまを自分の父と呼んだイエスさまに対して憎しみを持ったユダヤ人たちに、イエスさまの行われたことは父のなさることだと言われます。「自分からは何事もすることができない」とは、父と一つであるということ。イエスさまは父なる神さまと愛の信頼関係で結ばれ、完全に一つとなっております。

【律法】20 節: 神さまは御丹 イエスさまに、ご自身のみこころをお示しになりました。イエスさまが天に上げられた父、神さまはイエスさまを信じる私たち一人一人にみこころを示し、私達を通してこの地上での働きを行います。

【律法】22, 24 ~ 29 節: イエスさまは天の父なる神から、さばきの全権をゆだねられました。私たちがこの方を信じるか信じないかを決めたそ

●内容観察
 聖書はイエスさまご自身についてあかしする書です。モーセもキリストのことを書き記しました。モーセを信じる人は、キリストを受け入れるはず。しかし、彼らはイエスさまを信じ受け入れられませんでした。

●特観と適用
 【律法】31 ~ 32, 36 ~ 39 節: イエスさまご自身でご自身の事を証しするまでもなく、ご自身のわざと聖書を通してイエスさまの事があかしされています。聖書はイエスさまについてあかしをするものです。

〈避けるべき行動〉39 ~ 47 節: 聖書が書かれた目的はすべて、イエスさまが救い主であることを悟らせることです。モーセが書き記したモーセ五書も、イエスさまを指し示しているのです。ところがユダヤ人たちは、聖書をよく読んでいながら、イエスさまを信じ受け入れませんでした。

●内容観察
 詩篇の作者は、沈黙しておられる神に、敵がイスラエルを攻撃していることを訴えます。そして速やかに介入し、救ってくださるようにと叫びつつ祈っています。

●特観と適用
 〈模範〉1 ~ 2 節: 敵が騒ぎ立ち、敵の憎しみの中にありながらも、神さまは沈黙されています。作者は沈黙される神さまに対して、助けを求めています。

〈模範〉2 ~ 8, 18 節: 周辺の国々は神を憎み、イスラエルの滅亡を望んでいます。詩篇の作者は彼らが神の懲らしめを受け、最終的にはすべての支配者である神さまを知って、その前にひれ伏すことを求めています。

〈模範〉9 ~ 18 節: 詩篇の作者は攻撃する敵に対して、神さまご自身が介入し、彼らを滅ぼしてくださるようにと祈っています。神の民は自ら復讐するのではなく、神さまが状況を打開してくださるのです(ロマ12:19)。

●今日のお祈り
 多くの敵が私を取り囲んでいますが、私は主に助けを祈り求めます。私を迫害する人々のために祈る』を与えてください。

NOTE
 オレブとゼエル(11) ミデヤンの王制からイスラエルを解放する戦争の際、士師ギデオンの軍隊が殺したミデヤンの首長たち(士7:25)。
 セバとザルムナ(11) 士師ギデオンが殺したミデヤンの王たち(士8:4, 21)。

法主義が彼らを盲目にさせたのです。

〈教え〉13 ~ 15 節: この人は、自分をいやして下さった方が誰なのかを知りませんでした。しかし、イエスさまは再び彼に現れて、ご自身が誰であるのかを彼に教え、救いに導かれました。

●今日のお祈り
 人ではなく、イエスさまに従う者として下さい。また、私の心の内に有る律法主義が、さばくことに加担することがないようにして下さい。

●応答と礼拝
 *誰からも助けを受けられない人が再びにいませんか。イエスさまのように声をかけ、助けの手を伸ばしましょう。
 *裁く心、石みば私たちの目を見えなくさせます。律法主義的な心を退けましょう。
 *しるしや奇跡を体験するだけでなく、イエスさまとの人格的関係を大切にしましょう。

の瞬間、さばきが沫まります。イエスさまを信じ、イエスさまを遣わされた父なる神さまを信じるなら、さばきを免れ、永遠のいのちが与えられるのです。

●今日のお祈り
 あなたはイエスさまを通してあなたの御心をお示しになりました。私たちがあなたの働きを行う者とさせていただくために、あなたの御心を教えて下さい。また、イエスさまを信じ、永遠の裁きから救い出してください。感謝します。

●応答と礼拝
 *イエスさまが父なる神さまのみこころを行われたように、神さまの御心を行うために、神さまの御心を御心の中に求めましょう。
 *さばき主なるイエスさまを信じることによって、さばきを免れ、永遠のいのちをいただきました。このすばらしい救いを感謝し、人々に伝えましょう。

〈模範 避けるべき行動〉41, 44 節: イエスさまは、人から誉れを受ける事はなされませんでした。しかし、ユダヤ人たちは、互いに誉れを受けながらも神さまからの誉れを求めようとしませんでした。

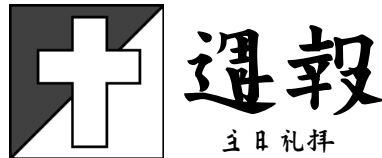
●今日のお祈り
 イエスさまをあかしする聖書のみことばを通して、あなたが救い主であることを覚えて下さい。心からあなたを信じて受け入れる事が出来ますように。

●応答と礼拝
 *イエスさまが救い主であることを聖書の証言を通して悟ることが出来るように祈りつつ、聖書に寄り頼んで御心を養いましょう。
 *人からの誉れを求めるのではなく、ただ神さまからいただく、救いの栄誉を受けることを求めましょう。

●応答と礼拝
 *敵に取り囲まれ、憎しみの対象になるような苦境に立たされているなら、神さまに助けを祈り求めましょう。
 *神さまを知らない人々や、迫害する人たちのために祈りましょう。
 *自分の』で復讐することをやめ、神さまの介入を求めて祈りましょう。

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

*ご都合の悪い場合や変更が必要な場合は、前週までにお知らせ下さい。



| | |
|---|---|
| 奏 楽 一 一 姉 リード: 一 一 兄 / 一 一 兄 《Worship Time》10:10~ 主はあなたを召すかた、慕い求めます、願ひこの足に、祈りの歌 《主日礼拝》10:30~ 招 詞 エペソ2:20~22 牧 師 頌 栄 新聖歌 60番 起立/一席 交 読 立 3番 詩篇16篇 一 席 使徒信条/主の祈り 一席/羞席 賛 美 新聖歌 21番 一 席 祈 禱 牧 師 賛 美 新聖歌350番 一 席 聖名朗読 Iコリント12:12~31 説 教 「キリストのからだなる教会」 牧 師 賛 美 新聖歌143番 一 席 感謝祈禱 一 一 兄 頌 栄 新聖歌 63番 起 立 祝 禱 牧 師 | 《今月の御旨》 あなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト イエスご自身が隣のかしらである。このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる室に成長し、そしてあなたがたも、主において共に建てられて、聖なる神のすまいとなるのである。(エペソ2:20~22) |
| | 《今週の御旨》 あなたがたはキリストのからだであり、ひとりびとりはその肢体である。(Iコリント12:27) |

| | | |
|--|-------------|----------------------------------|
| | 《今週のスケジュール》 | |
| | 15(月) | 1400~ 全日本キリスト教会連合会議(中山委員教会) |
| | 16(火) | |
| | 17(水) | 0945~ 越前祈禱会 1130~T&M 2000~ 伊野祈禱会 |
| | 18(木) | 1600~、2000~T&M |
| | 19(金) | 2000~T&M |
| | 20(土) | |
| | 21(日) | 1015~ Worship Time、1030~ 主日礼拝 |

| | |
|--|--|
| | 次週礼拝で聞かれる次週の御旨 Iコリント13:1~7 「もし愛がなければ」 |
| | 次週の讃美 鹿のように、主の足もとに、主は良しおろ いつも喜んでいよう 新聖歌22、新聖歌388、新聖歌489 |

| | | |
|---|--|---|
| 《2018年目標》 「神のすまいとなる教会」 ①御旨とキリストが「か ②主に組み合わされる聖なる室 ③主に共に建てる聖なるすまい | 《2018年の御旨》 このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる室に成長し、そしてあなたがたも、主において共に建てられて、聖なる神のすまいとなるのである。(エペソ2:21~22) | 《2018年目標》 ① 日常の聖的な生活 (ディボーションの祝福) ② 主の臨在を日々礼拝 (主とまことの礼拝) ③ 祈りの礼拝 (とりなしの祈禱会) ④ 育成と宣教の礼拝 (Church Multiplication) |
|---|--|---|

